

(2) 流 況

① 調査時期

ア 25 時間調査

令和 8 年 3 月 2 日～3 月 3 日（月 齢 12.6～13.6）

イ 15 日間調査

令和 8 年 2 月 16 日～3 月 3 日

② 調査地点

図 1 に示す St. 1～4 の計 4 地点

③ 調査方法

ア 25 時間調査

図 1 に示す St. 1～4 の計 4 地点において、表層(1m 深)に電磁流速計を係留し、流況を 25 時間連続測定した(図 9)。

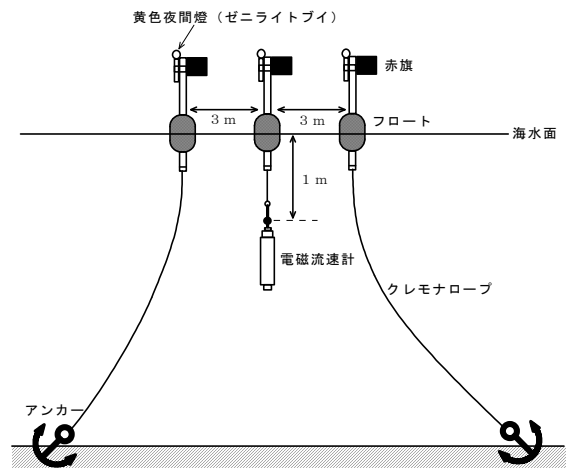


図 9 25 時間調査概略図

イ 15 日間調査

図 1 に示す St. 2 の表層(1m 深)、底層(14m 深)に電磁流速計を係留し、流況を 15 日間連続測定した(図 10)。

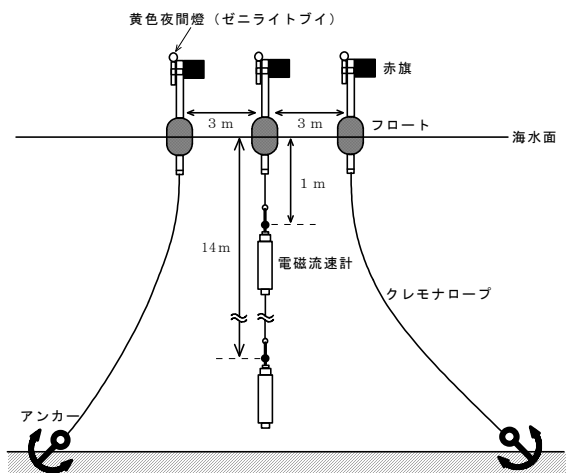


図 10 15 日間調査概略図

④ 調査結果

ア 25 時間調査

(イ) 毎時流ベクトル経時変化

全ての地点でおおむね南北方向に半日周期の変動がみられた。

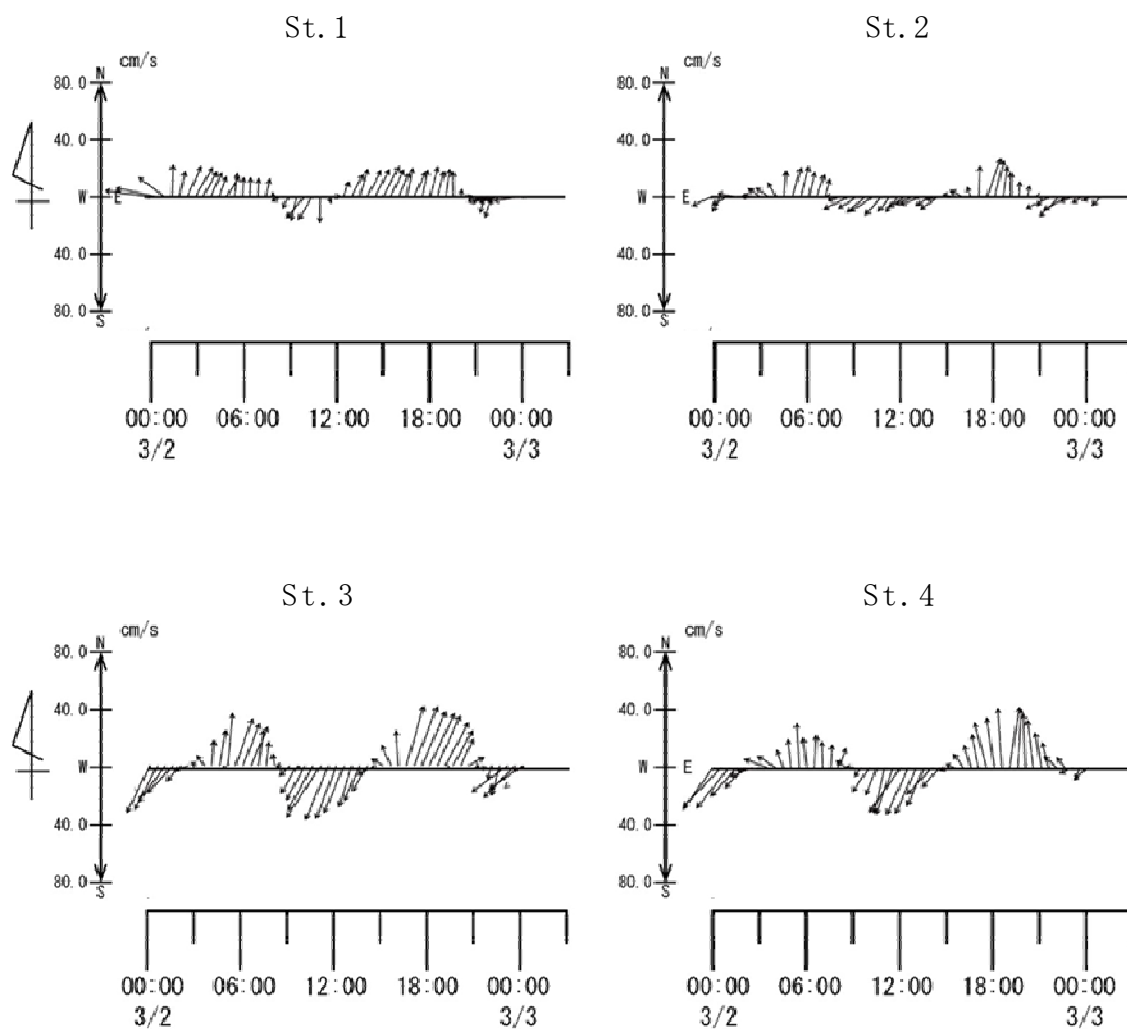


図 11-1 25 時間調査結果 (毎時流ベクトル経時変化)

(イ) 表層(1m 深) 流向・流速別頻度分布

最多出現流向は St. 1 では北北東、St. 2 では西南西～南西、St. 3 では南南西、St. 4 では北であり、最多出現流速分布は St. 1、2、4 では 10～20cm/秒、St. 3 では 30～40cm/秒であった。

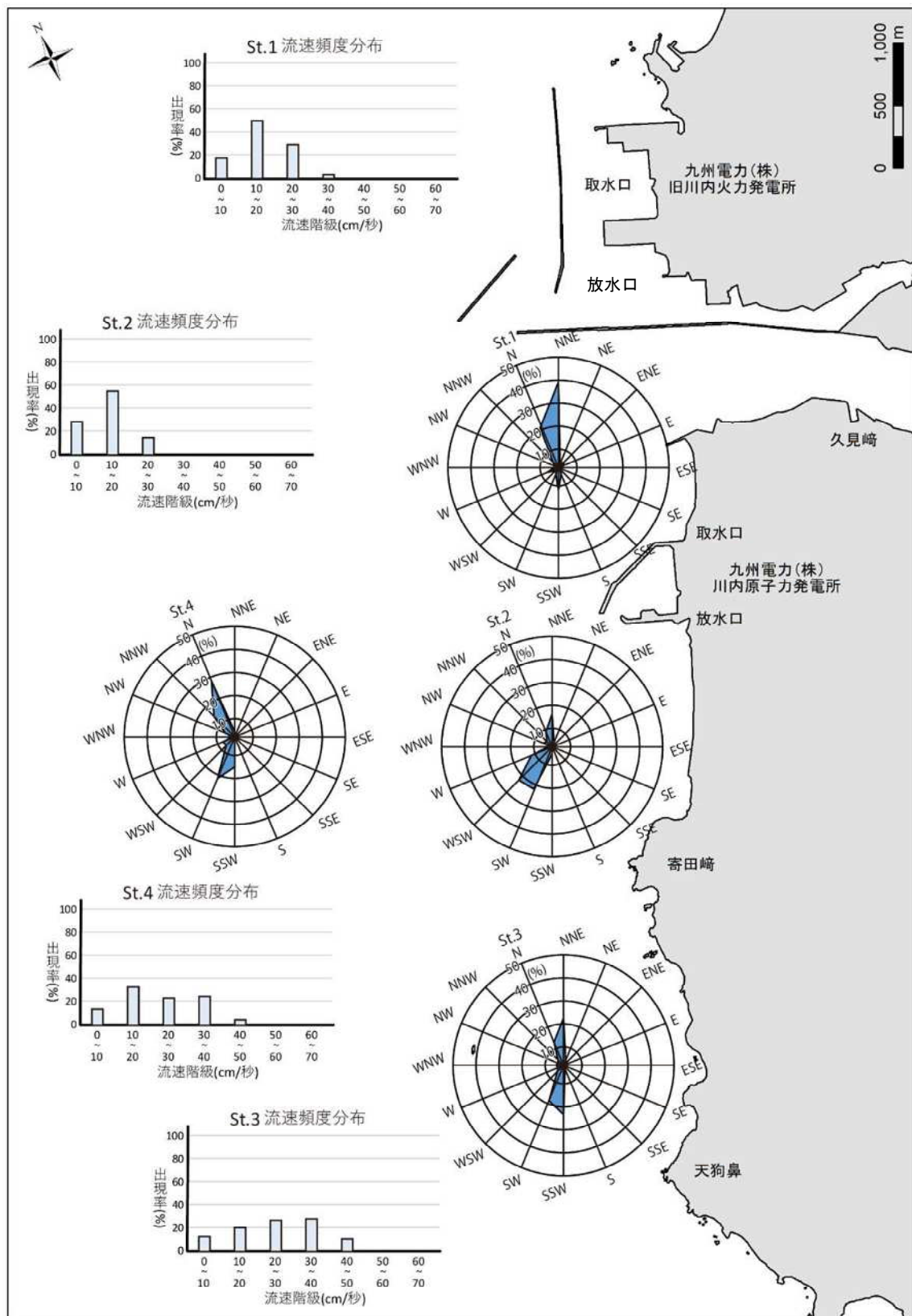


図 11-2 25 時間調査結果(流向・流速別頻度分布)

(ウ) 表層(1m 深) 流向別平均流速分布

平均流速は St. 1 では西北西、St. 2、3 では北北東、St. 4 では北が大きく、日平均流の流向は St. 1 では北北西、St. 2、4 では西北西、St. 3 では西であり、全観測期間中の平均流速は 13.8～25.0cm/秒の範囲であった。

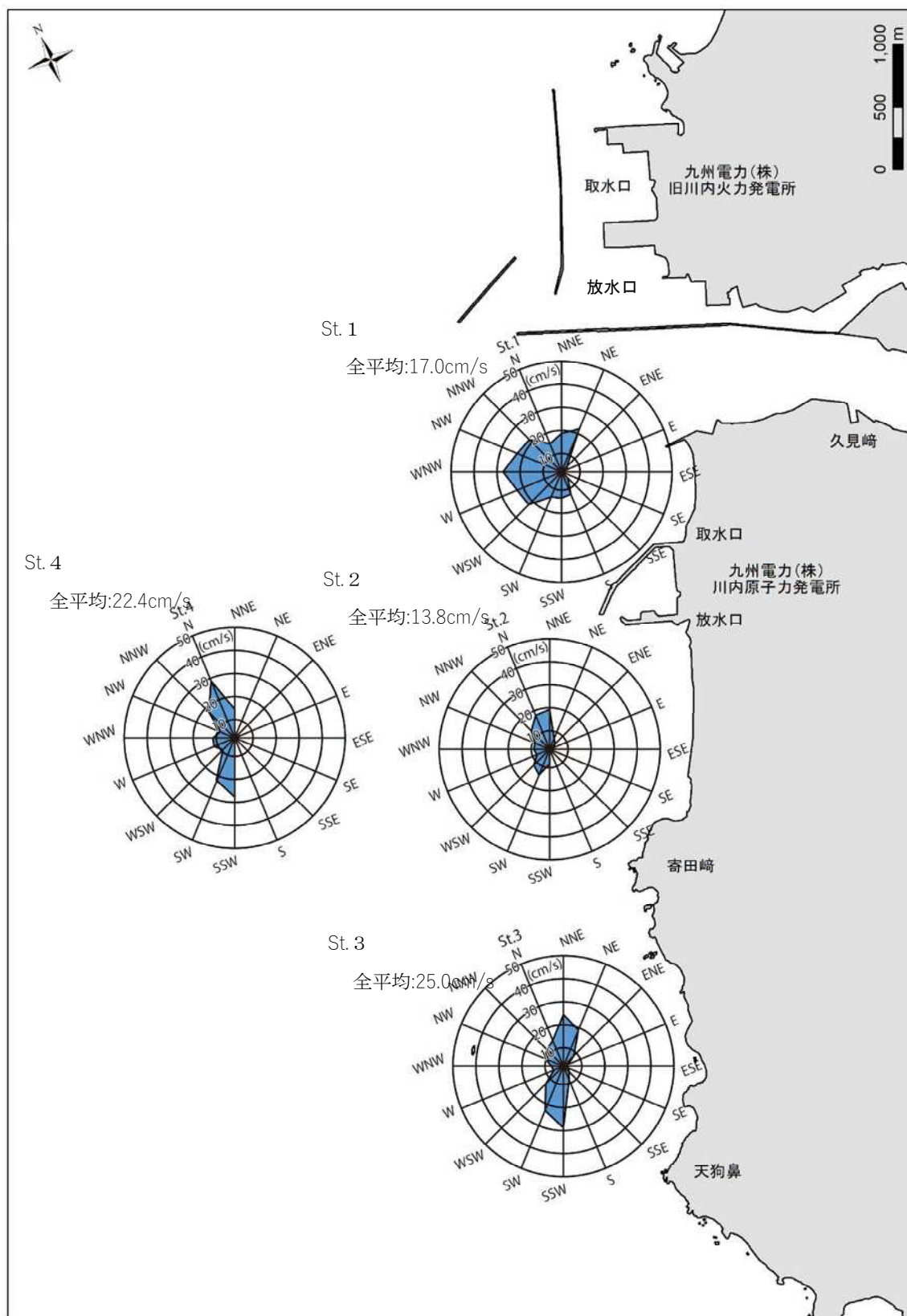


図 11-3 25 時間調査結果(流向別平均流速分布)

イ 15 日間調査

(ア) 毎時流ベクトル経時変化

表層（1 m 深）及び底層（14m 深）の 25 時間移動平均ベクトルは、調査期間中を通しておおむね南方向の流れがみられた。

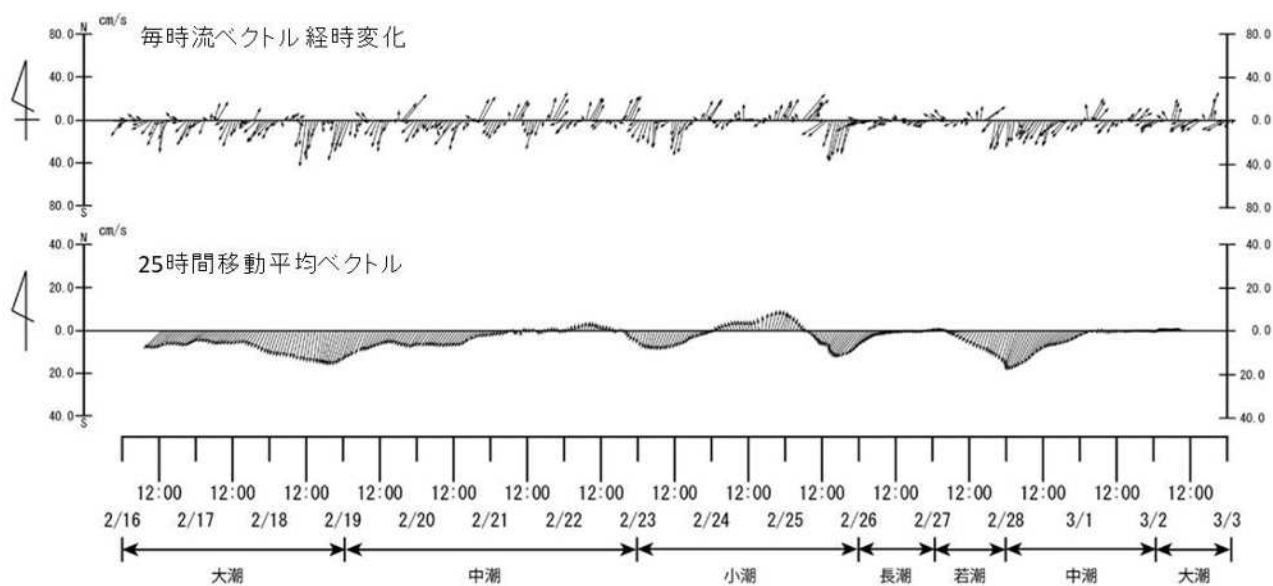


図 12-1 15 日間調査結果：表層（1m 深）（毎時流ベクトル経時変化、25 時間移動平均流ベクトル）

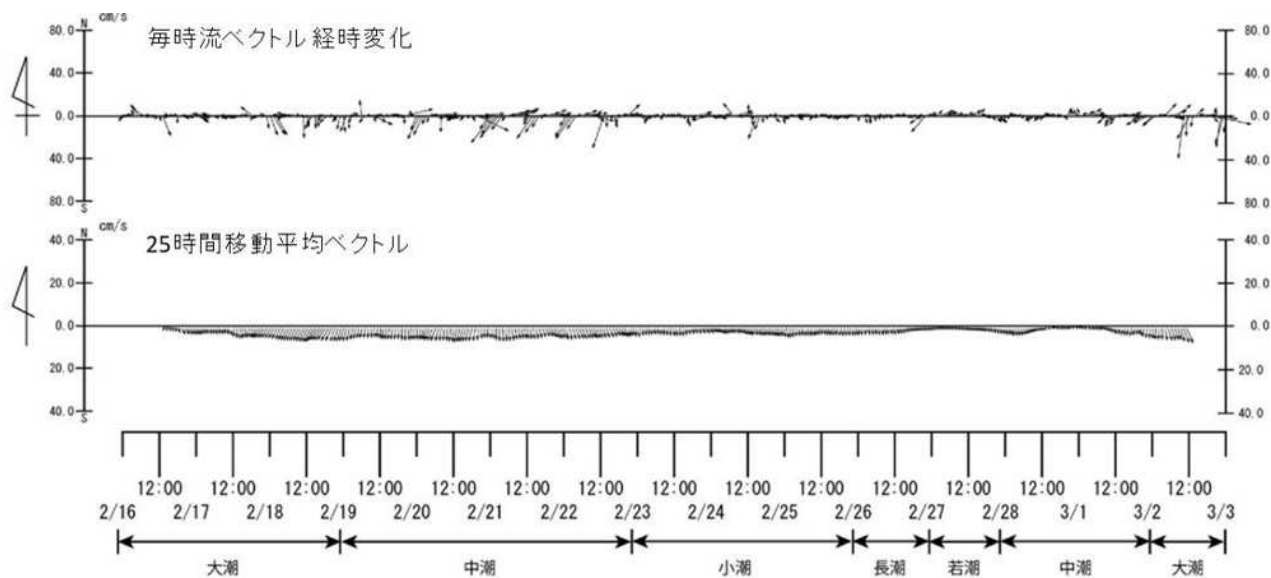


図 12-2 15 日間調査結果：底層（14m 深）（毎時流ベクトル経時変化、25 時間移動平均流ベクトル）

(イ) 流向・流速別頻度分布

最多出現流向は表層（1m深）は南南西、底層（14m深）では南西であり、最多出現流速は表層（1m深）では10～20cm/秒、底層（14m深）では0～10cm/秒であった。

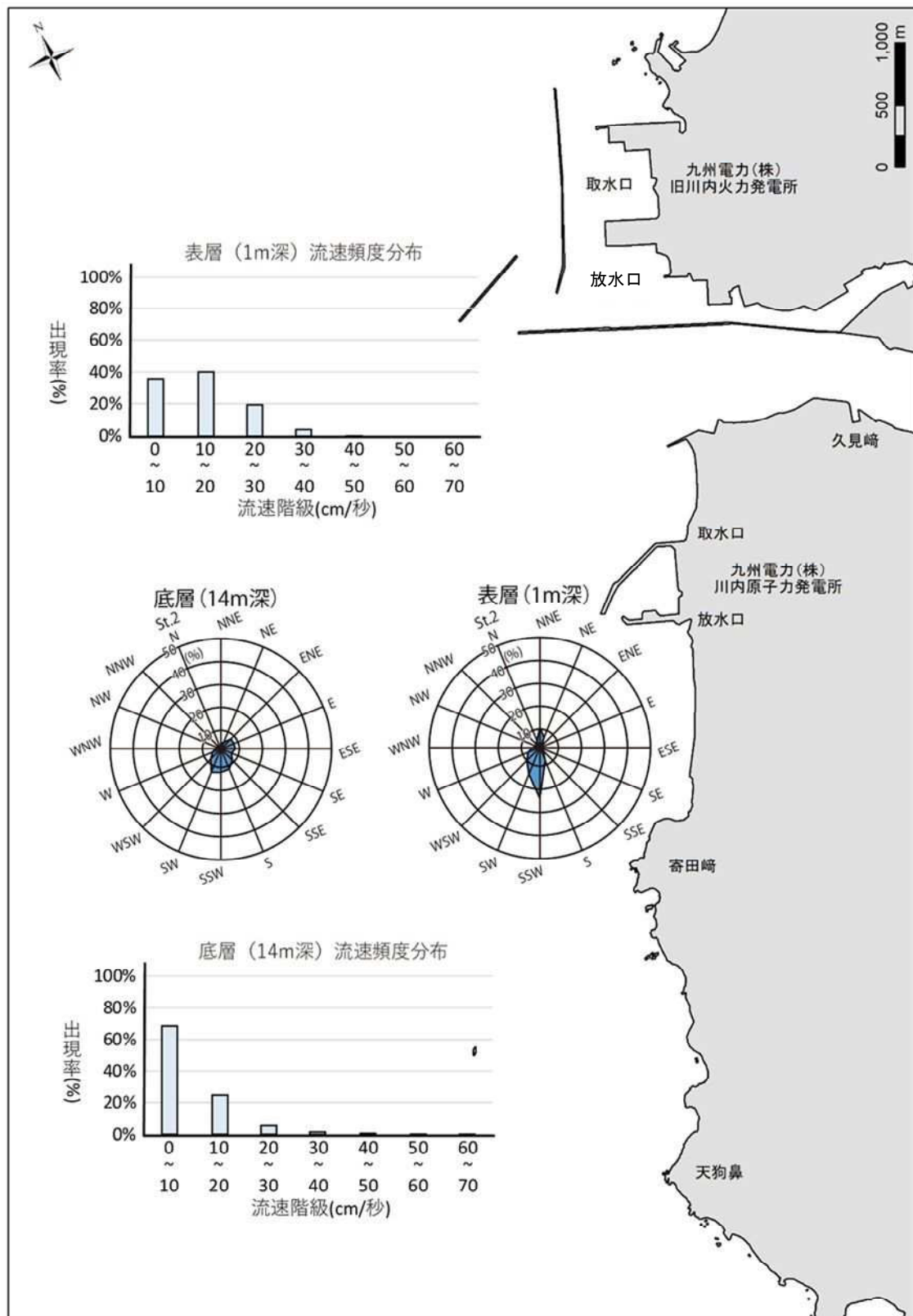


図 12-3 15 日間調査結果（流向・流速別頻度分布）

(ウ) 流向別平均流速分布

流向別の平均流速は表層（1 m深）では南、底層（14m深）では東北東が大きく、全観測期間中の平均流速は表層（1 m深）では 14.3cm/秒、底層（14m深）では 8.7cm/秒であった。

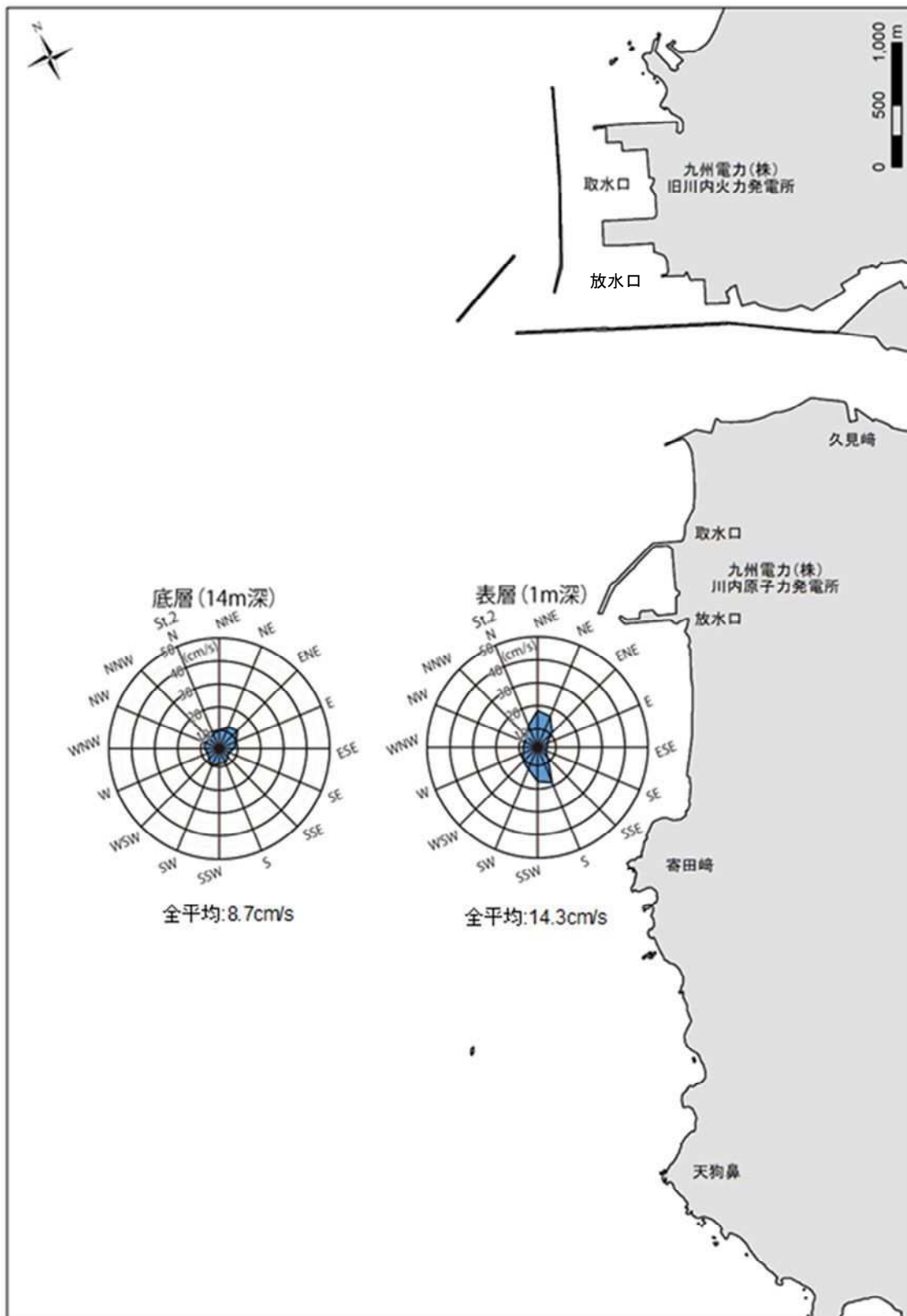


図 12-4 15 日間調査結果（流向別平均流速分布）

2 令和7年主要魚類及び漁業実態調査結果

(1) 調査の方法

① イワシ類（シラス）調査

川内市漁協におけるバッチ網漁業の年間の漁獲量を把握するとともに、同漁協に所属するバッチ網漁船5統のうち1統を標本船として、銘柄別漁獲量、イワシ類の魚種割合、漁場、操業回数などの日別漁獲状況を操業日誌の記帳により調査した。（バッチ網の操業許可期間 1～12月 周年）

② マダイ・チダイ調査

川内市漁協におけるごち網漁業の年間の漁獲量を把握するとともに、同漁協に所属するごち網船5隻のうち2隻を標本船として魚種別漁獲量などの日別漁獲状況を調査した。（ごち網の操業許可期間 4～12月）

(2) 調査の結果

① イワシ類（シラス）調査

(ア) 川内市漁協の平成18年から令和6年までの漁獲量は、15トンから902トンの間で推移し、令和7年は0.2トンであった。

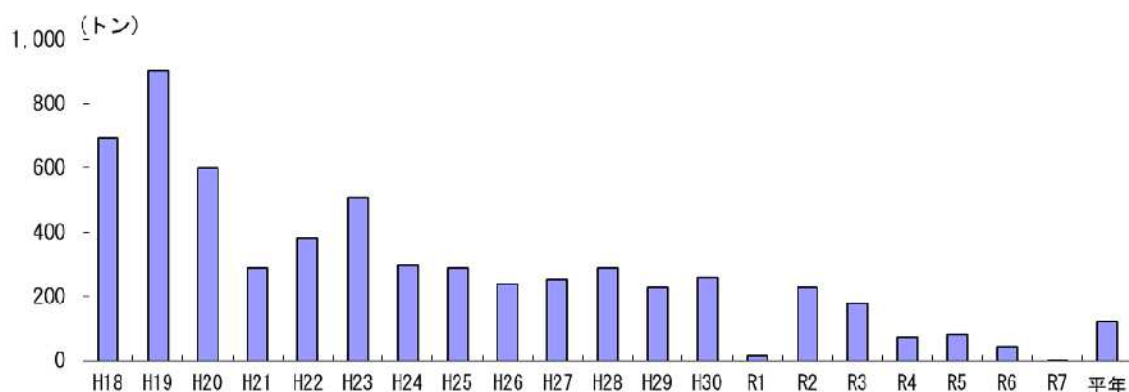


図 13-1 川内市漁協バッチ網漁業の年別漁獲量

※平年値は過去5年平均値 ※S60～R6までの範囲：15～2,239トン

(イ) バッチ網標本船における平成18年から令和6年までの漁獲量は7.9トンから277.8トンの間で推移し、令和7年は漁獲がなかった。

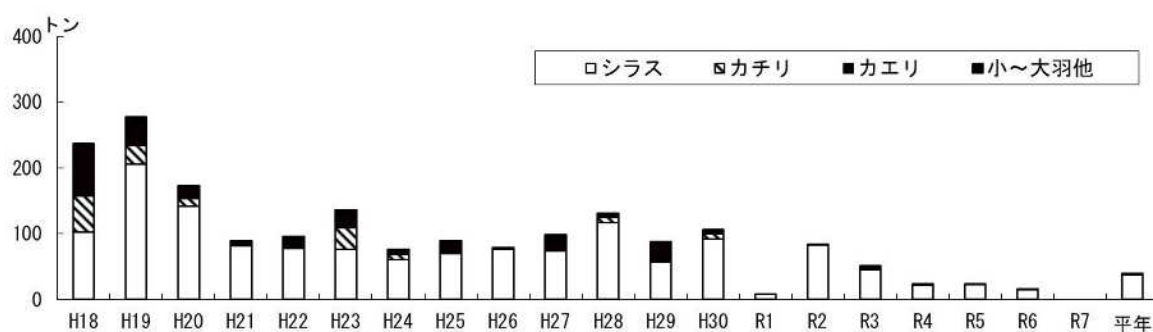


図 13-2 バッチ網標本船の年別漁獲量

※平年値は過去5年平均値 ※S60～R6までの範囲：7.9～600.8トン

② マダイ・チダイ調査

ア 漁獲量

(ア) 川内市漁協における平成 18 年から令和 6 年までのごち網の漁獲量は、16 トンから 106 トンの間で推移し、令和 7 年は 18 トンであった。

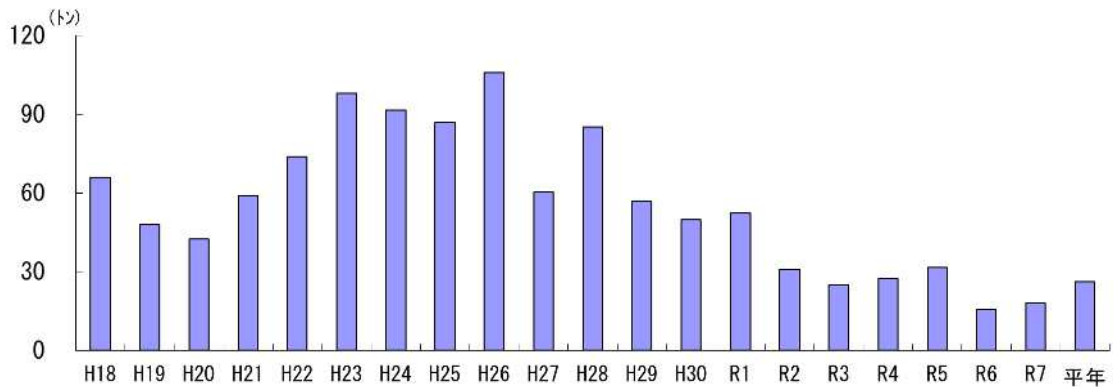


図 14-1 川内市漁協ごち網漁業の年別漁獲量

※平年値は過去 5 年平均値 ※S60～R6 までの範囲：16～127 トン

(イ) ごち網標本船 2 隻における平成 18 年から令和 6 年までのマダイ・チダイ漁獲量は、1,966 kg から 14,495 kg の間で推移し、令和 7 年は 2,044kg であった。

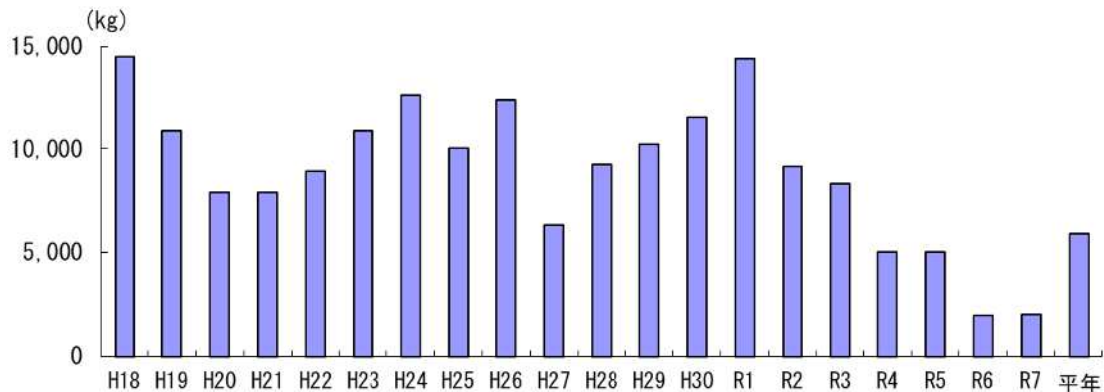


図 14-2 ごち網標本船マダイ・チダイ漁獲量の推移

イ マダイ・チダイ別漁獲量

ごち網標本船 2 隻における令和 7 年のマダイとチダイの漁獲量を比較すると、マダイが 1,972 kg、チダイが 73kg で、例年どおりマダイの割合が高かった。

表4 令和7年ごち網標本船月別魚種別漁獲量（単位：kg）

月	操業日数	マダイ	チダイ	タイ類小計	その他	合計
4月	22	718	8	725	39	764
5月	18	585	38	623	64	686
6月	5	144	24	168	19	187
7月	5	205	3	209	2	211
8月	3	134	0	134	4	138
9月	1	11	0	11	0	11
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	7	175	0	175	2	177
合計	61	1,972	73	2,044	130	2,174

※その他の魚種：コショウダイ、ヘダイ、フエフキダイ類 等

ウ マダイ・チダイの月別漁獲量

令和7年の月別漁獲量は4月が多く、合計725kgで年間(2,044kg)の35%を占めた。

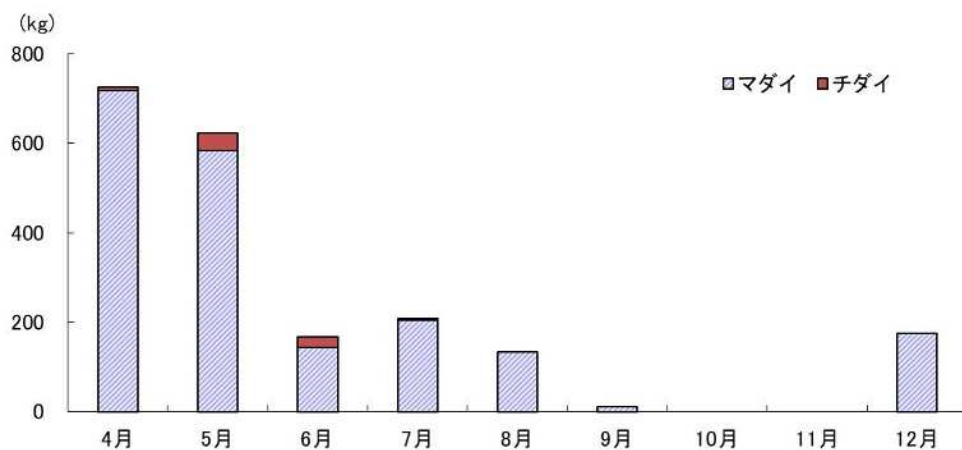
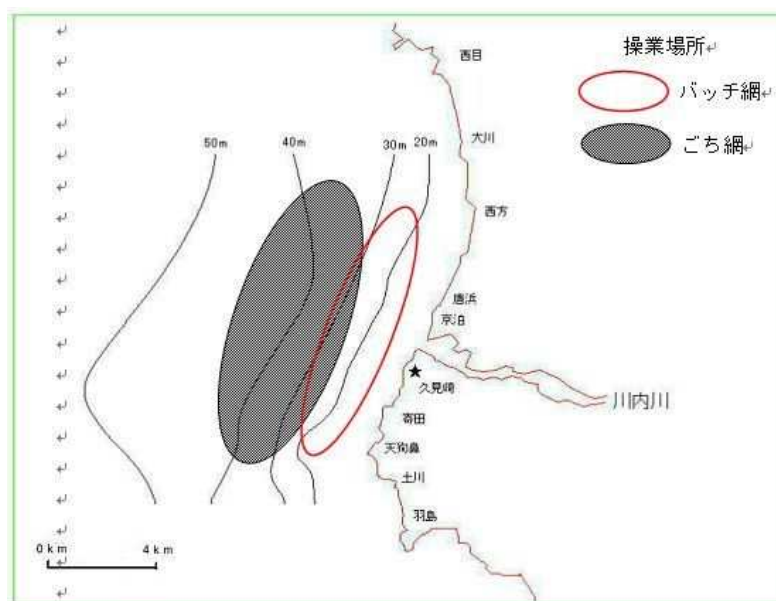


図14-3 令和7年ごち網標本船月別タイ類漁獲量

(参考) バッチ網・ごち網漁場



鹿児島県商工労働水産部水産振興課

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10番1号 電話 099-286-3426

鹿児島県水産技術開発センター

〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号 電話 0993-27-9200